
ロシアのクレジットカードをめぐる環境

ロシアの銀行制度の特徴

高橋 浩

社団法人ロシアNIS貿易会
ロシアNIS経済研究所
副所長

【目次】

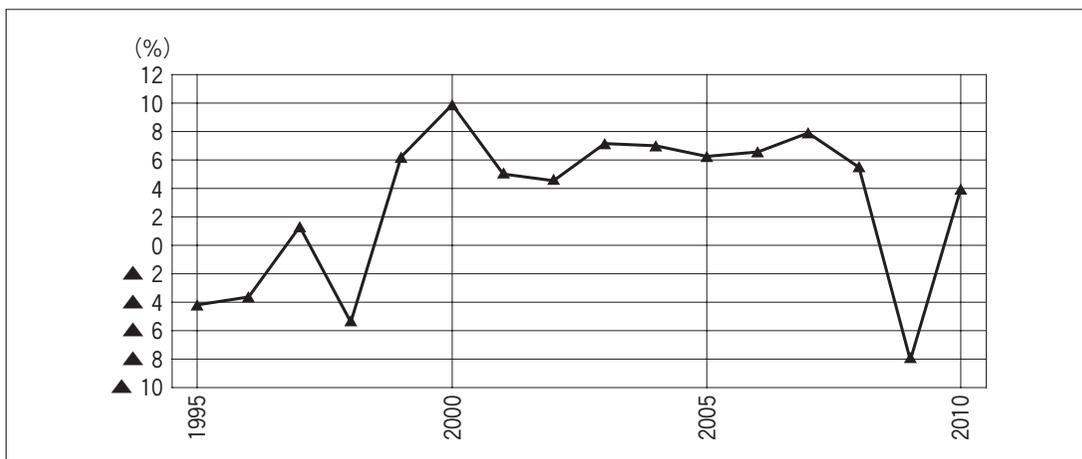
- I. はじめに — リーマンショック後のロシア経済
- II. ロシア中央銀行の圧倒的な力のもとにある金融・銀行体制
- III. 外資規制は、総量規制、外資の支店の開設は認められない
- IV. ロシア人の銀行、貯蓄との関係
- V. 銀行カード、クレジットカードをめぐる状況

I. はじめに — リーマンショック後のロシア経済

ロシア経済の2000年以降および2008年のリーマンショック後の経済の現状をおさらいしておこう。ロシア経済は、2000年代に入り、ソ連解体後の1990年代の不安定な経済状況を脱し、高い成長率を記録した。その背景には、ロシアがエネルギー・資源大国であるということ为背景に、原油価格の高騰などが成長の背景にある。その後、リーマンショックによりマイナス成長となったが、再びエネルギー・資源価格の高騰もあり、2010年はプラス成長となり、回復傾向を示している。

2000年に入ってからロシア経済は、インフラ整備の問題というボトルネックはあるものの、財政黒字を続け、潤沢な外貨準備の積み増し、基金の創設などにより、安定した政府部門の財政およびマクロ経済の安定を背景に、1990年代にみられたような国内外の金融・経済のショックにより、経済が大きく混乱する状況はなくなった。また、後述のように、原油価格の高騰が背景にあるにしても、ロシア経済は、消費が経済を大きくけん引する状況が続いている。

図-1 ロシアのGDP伸び率の動向



出所：ロシア国家統計庁HP (<http://gks.ru>) および『数字でみるロシア 2010』

Ⅱ. ロシア中央銀行の圧倒的な力のもとにある金融・銀行体制

ロシアの銀行制度の特徴は、中央銀行であるロシア中央銀行の圧倒的な力のもとに、銀行・金融機関が支配下におかれていることである。その職員数は、年次報告書によると2008年現在で71,600人である。日本銀行の4,853人（2008年3月）よりも圧倒的に多く、過剰といつてよいであろう。ロシア中央銀行は、ロシア国内の隅々にまで支店網を置き、日常的な銀行・金融機関の管理を行うことを主要業務とする。筆者の経験でも、ある日系の銀行で2005年にヒアリングをしたところ、日常的に膨大な書類を中央銀行に提出する必要があるという話を聞いた。

ロシア国内への外資銀行の進出にあたっては、ロシア中央銀行の許可が必要である。このハードルは非常に高いものではあるが、銀行分野への進出は、中央銀行の許可のみが大事であるので、中央銀行との強い関係が築かれれば、ある意味では進出は容易い部分もある。他の業界、とくに製造業や運輸などの現業の伴う分野では、様々な官庁が許可にかかわり、調整が長引くこともあるという事情がある

さて、ロシアでは、後述のように、一般的に銀行への市民の信頼度は低いのであるが、信頼性の高い銀行も存在する、中央銀行あるいは政府が出資している銀行である。日本のうち銀行に似たズベルバンク、かつて政府の貿易業務を行っていたロシア外国貿易銀行の流れをくみ、政府が最大の出資者であるVTB銀行の2行である。ズベルバンクを通じた実際の銀行業務を含め、ロシア中央銀行はロシアの銀行部門に圧倒的な影響力を有する。

＜ロシアの政府系2大銀行＞

-ズベルバンク（ロシア中央銀行が57.58%を所有、2010年4月現在）

- ・従業員数：245,600人（2011年2月末のHPより）
- ・ロシアの銀行資産の27.3%を占めて、最大のシェア

-VTB銀行（ロシア政府が85.5%の所有、2010年6月現在）

- ・従業員数：約4万人（2008年）
- ・ロシアの銀行資産の12.4%で、2位のシェア

Ⅲ. 外資規制は、総量規制、外資の支店の開設は認められない

ロシアの銀行および金融部門への外資規制は、ロシアのWTO加盟ともからみ流動的要素があるが、2つの基本線で規制が加えられている。ひとつは、銀行金融部門への外資の総量規制である。もうひとつの規制は、支店開設が認められないということである。すなわち、外資進出にあたっては現地法人化が必要であるということである。その際、100%外資であってもかまわないが、あくまで、独立したロシアの法人として登記が必要である。銀行・金融規制は、ロシアのWTO加盟をめぐる米国等が大きな問題として、かつて通商問題化していた。しかし、その後、銀行部門への外資参入はソ連解体後、それほど増えない状況が続いていたが、2000年以降、とくに2005年以降、100%外資の銀行が著増し、実質的な銀行部門への外資規制は緩やかになりつつある。銀行数のみならず、支店数が大きく伸びている。また、急増する銀行部門への外資は総量規制の枠を超えているのではないとも言われ、実質的にはこの総量規制は有名無実化しつつあるとの説もある。いずれにせよ、外資系銀行が増え、その支店も増えている。

表-1 ロシアの銀行数関係指標（年初）

（年初）	2001	2005	2009	2010
信用機関	2,126	1,518	1,228	1,178
うち：銀行	1,311	1,299	1,108	1,058
外資100%	22	33	76	82
外資50-100%未満の銀行	11	9	26	26
信用機関の支店数	3,793	3,238	3,470	---
うち：ズベルバンク	1,529	1,011	775	---
外資100%銀行	7	16	242	---

出所：ロシア国家統計庁『ロシア統計年鑑 2009』および『数字でみるロシア 2010』

Ⅳ. ロシア人の銀行、貯蓄との関係

ソ連解体後、ロシアは何度か金融経済危機が生じ、また、経済も大きく混乱した。そのために、大手銀行の倒産、大変なインフレーション、為替の大幅な切り下げあるいは変動を経験したために、銀行あるいは銀行預金へのロシア人の信頼性は非常に乏しい。したがって、現金があれば、預金せずに消費に回すというのが、ロシア人の行動パターンである。

ロシアの調査会社、LEVADA CENTERのアンケート調査によると、「何らかのお金の貯えがある」との回答は、増えてはきているものの、2010年でも約3割にとどまる。

「ロシア人に金銭的余裕がないために貯蓄に回せない」とのというわけではない。ロシアにおける貧困層の割合は、2008年のリーマンショック以後増加する傾向もあるが、2000年代を通じてみれば、減少してきているのである。

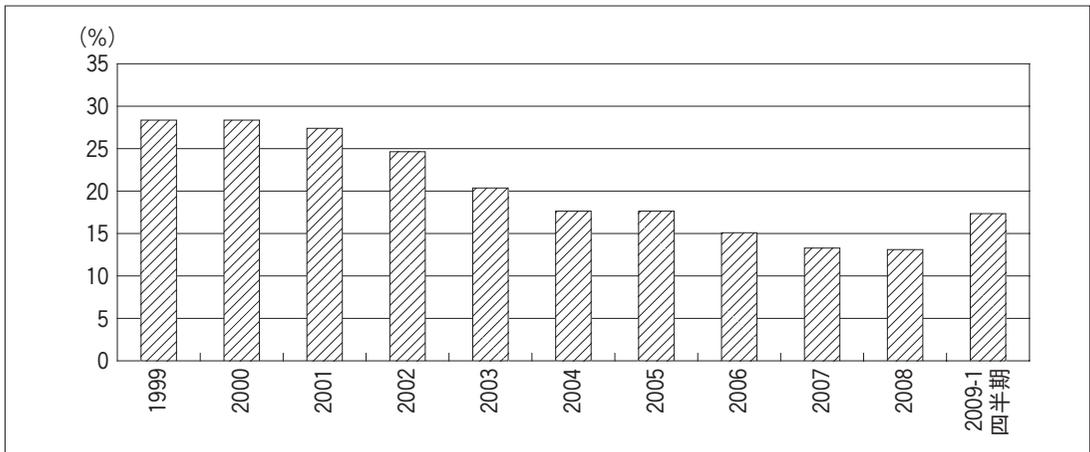
「はじめに」でも述べたように、ロシア経済の2000年以降の経済成長は、エネルギー・資源価格の高騰が基本的背景にあるものの、成長の歯車を動かしているものは旺盛な消費である。表のように、実質ベースでも、10%をこえるような賃金・所得の伸びと、前述のような「貯蓄よりも消費」というメンタリティが消費を押し上げ、また、成長をけん引している。

表一 「何らかのお金の貯えがありますか？」に対する回答（回答者数1,600人）

(年初)	2002年7月	2007年7月	2009年6月	2010年6月 (%)
ある	26	22	25	29
ない	68	66	68	64
分からない／回答拒否	6	12	7	7

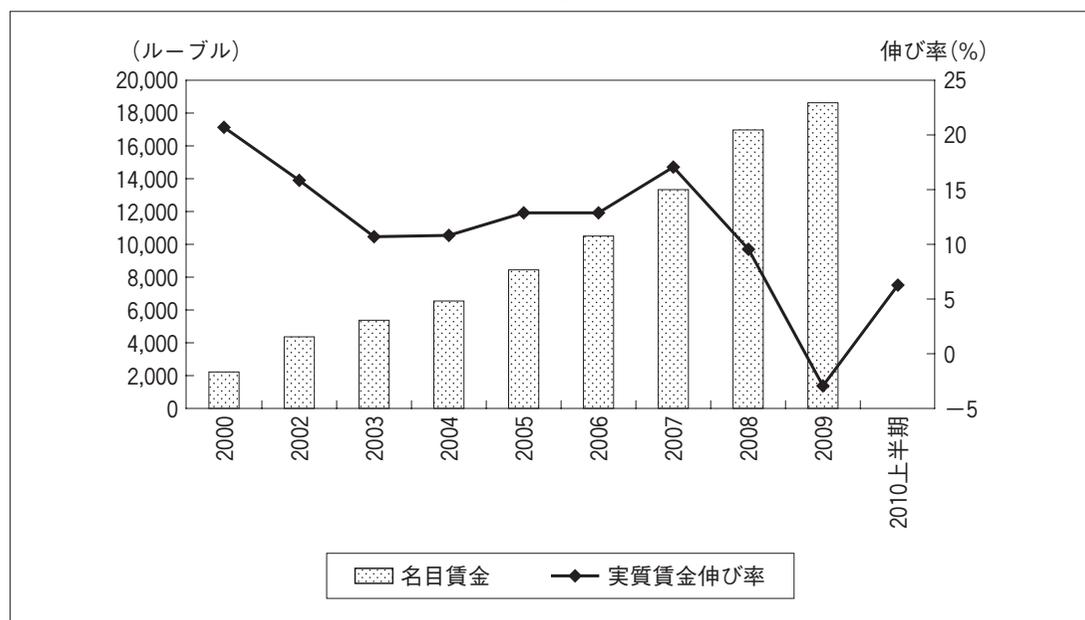
出所：LEVADA CENTER (www.levada.ru), 2010年7月16日発表

図一 ロシアの貧困層の割合推移 (%)



出所：ロシア国家統計庁HP (http://gks.ru) および『数字でみるロシア 2010』

図-3 ロシアの月額賃金と伸び率



出所：ロシア国家統計庁HP (<http://gks.ru>) および『数字でみるロシア 2010』

V. 銀行カード、クレジットカードをめぐる状況

ロシア人の銀行に対する信頼度は一般的に低い、銀行カードの発行数およびクレジットカードの発行数は2000年代後半大きく伸びている。ATMの台数も大きく伸びており、世界の他国の動向をみても、ロシアのATM設置台数は、大きなものである。ただし、ATM設置が増えている理由は、銀行カードによる現金引き出しのほうに主眼があるが、同時に、クレジットカードによるキャッシング機能も使われているようである。モスクワ等のロシアの大都市には、多数のATMがあり、モスクワ等の大都市のロシア人はそこから現金を引き出すことに慣れているようである。

ロシア中央銀行の分析・統計誌の『支払・決済システム』(No.20)によると2009年初現在、ロシアの1108の銀行のうち707銀行がカードを発行、そのうち678が銀行カード、634がクレジットカードを発行している。また、個人向け発行枚数は、カード全体で2009年初(2008年末)現在で1億1,920万枚、2008年は対前年比15.2%増、2007年は38.4%増の伸びを示している。また、同誌のなかで示されている中銀の評価では、市場が飽和状態に近付きつつあるとの認識である。枚数の伸び率が鈍化しているので、「市場が飽和しているという見方」との見方をとっているものとみられるが、これはやや弱気な見方であろう。2008年はリーマンショック

の年であり、リーマンショック後、旺盛なロシア人の消費意欲は復活しつつあり、クレジットカードを含めた銀行カードが拡大する余地は非常に大きいものがあると考えたほうが妥当である。表をみると2007年のクレジットカードだけの枚数の伸び率は58%増の高い伸びを示しており、まだまだ伸びしろは大きいとみるべきであろう。

表-3 ロシアのカード発行枚数とATM, POS台数 (年末)

(年末)	2003	2004	2005	2006	2007	2008
カード発行枚数 (1,000枚)	24,021	35,157	54,665	74,762	103,497	119,200
うち;銀行カード (1,000枚)	23,815	33,810	52,130	68,922	94,097	---
クレジットカード (1,000枚)	206	1,319	2,479	5,660	8,944	---
ATM (台)	13,978	19,737	27,779	39,475	54,804	---
POSターミナル (台)	67,333	101,389	140,096	171,481	239,419	---

出所：ロシア中央銀行『支払・決済システム』(No.16およびNo.20)